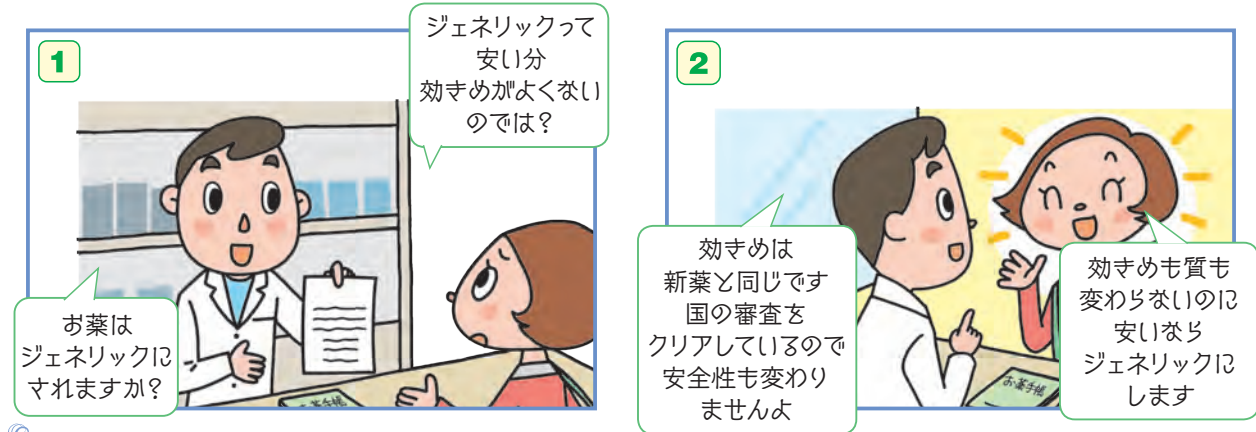


ジェネリック医薬品は新薬と同じ 効きめ・安全性で安価な薬です



新薬と有効成分や効能が同じなのに、新薬よりも価格が安いジェネリック医薬品。いつものお薬をジェネリック医薬品にすれば、みなさんが負担するお薬代も節約できます。

ジェネリック医薬品が安い理由は、新薬より開発コストがかからないからです

新薬は、発売されるまでの研究開発に多くの時間や費用がかかるので、新薬を開発した製薬会社には、特許の出願により、約20～25年の特許期間が与えられます。一方、ジェネリック医薬品は、新薬の特許期間満了後に新薬と同じ有効成分で製造・販売されるお薬です。新薬より開発費用が少なくてすむため、価格を抑えられます。

●開発にかかる期間と費用

	開発期間	開発費用
新薬	9～17年	数百億円以上
ジェネリック医薬品	3～5年	約1億円

効きめや安全性が新薬と同等であることは、国の審査で確認済みです

ジェネリック医薬品は新薬と同一の有効成分を同一量含んで作られています。国の厳しい審査で、有効性・安全性・品質が新薬と同等であることが確認されたものだけが、ジェネリック医薬品として販売されています。お薬の形や色、味、添加剤などは変えてもよいことになっているため、見た目や添加剤が異なることがありますが、有効性や安全性に違いはありません。

近年は「オーソライズド・ジェネリック（AG）」と呼ばれる、有効成分だけでなく、添加物、製造方法まで新薬と同一のジェネリック医薬品が登場し、現在では多数のAGが販売されています。

Column

オーソライズド・ジェネリック（AG）

AGは新薬メーカーから許諾を得て製造・販売される、新薬とほぼ同一のジェネリック医薬品をいいます。一般的なジェネリック医薬品と同様に開発コストが少なくてすむため、お薬代が安くなります。

本誌に同封の「ジェネリック医薬品希望シール」をご活用ください

本誌に同封の「ジェネリック医薬品希望シール」を保険証や診察券、お薬手帳に貼っておけば、診察時等に「ジェネリックを希望している」旨を申し出なくても意思が伝わります。ぜひご活用ください。



注意 すべての薬にジェネリックがあるわけではありません。また、医師の治療上の方針で、ジェネリックに変えられない場合もあります。